

#### ご 利 用 に 際 し て

1. とくに注意書きがない限り、会計年度間(4月1日から翌年3月31日まで)、平成21年度末日(平成22年3月31日)の状況を表しています。
2. 表の記載において記号は、「-」…該当数値なし、「0」…単位未満、「…」…不詳、「」…減を表しています。
3. 内訳の数値を0合計したものが総計と合わない、または比率の合計が100%とならない場合がありますが、これは単位未満について端数処理をしたためです。
4. のように網かけをしている項目は、平成21年度版から新たに掲載したものを示しています。
5. 「第2章 人の健康の保護と生活環境の保全」の記述に関する詳細なデータは、「平成21年度鎌倉市環境調査データ集」をご参照ください。
6. 本書及び鎌倉市環境調査データ集は、ホームページでもご覧いただけます。(紙資源節約)  
URL <http://www.city.kamakura.kanagawa.jp/kankyo/>
7. ご意見、ご感想は下記までお寄せください。  
鎌倉市環境部環境政策課  
〒248-8686 鎌倉市御成町18番10号  
電話 0467-61-3421 FAX 0467-23-8700  
E-mail [kankyo@city.kamakura.kanagawa.jp](mailto:kankyo@city.kamakura.kanagawa.jp)

表紙: かまくら3R推進マスコットキャラクター(ぼん太、ひめ、にゃん丸)と  
“いざ鎌倉ストップ温暖化” 推進キャラクター(エコラ)

## かまくら環境白書の発行にあたって

かまくら環境白書は、鎌倉市環境基本計画に示された目標の進行状況を管理するため、主に前年度の実績等を踏まえその結果を公表するもので、今回で15回目の発行となります。

平成18年3月に策定した第2期鎌倉市環境基本計画は、計画期間を平成18年度から27年度までの10年間とし、地球規模での環境問題に対する取組の重要性を認識し、持続可能な社会を構築していくために、すべての人が様々な場所で環境保全に向けた取組を実践することの必要性を加えて15の目標を定めました。

日々、身近なことからグローバルなものまで様々な環境問題が取り沙汰されています。最近の大きな話題のひとつである地球温暖化や生物多様性などは、国家間の枠を超えた多様な政治経済的な協調がなければ改善に向きません。しかしながら、地球資源の確保や経済成長などが優先となり気候変動枠組条約締約国会議（COP）においても新興国と先進国の意見が対立するなど、2013年以降の温室効果ガス削減に向けた国際枠組みについて多くの課題が残されています。

道義的責任のもと国家間の歩み寄りが環境面のみならずその他の国際的な問題の解決への一歩であると思います。

国連が「国際生物多様性年」と定める平成22年は、愛知県名古屋市で生物多様性条約締約国会議（COP10）が開催され、その関連会議である生物多様性国際自治体会議に本市が参加し生物多様性の地方における取組の事例を報告しました。

また、市域における地球温暖化防止のための対策として緑のカーテン設置の推進、住宅用太陽光発電システム設置費の補助、環境学習会や啓発イベントなどを実施しました。

本市では第2期鎌倉市環境基本計画に15の目標項目を掲げ、より良い環境を将来世代へ引き継ぐために施策や事業を推進しています。

目標を達成するためには、市民、事業者、滞在者、行政など各主体の協力と連携が不可欠です。

そのためには、職員一人ひとりがより良い環境や社会を目指して日々の職務に臨むことが大切と考えています。それが市民や他の人にも伝わることによりその輪が広がり環境保全の推進につながればと思っています。

また、本白書が地域における取組を紹介することを通じ、さらなる環境負荷低減に向けた取組の推進につながれば幸いです。

平成 23 年 1 月

鎌倉市長 松尾 崇